

3 事業利用実績

(1) 法人管理

- 平成28年度は、丸子地域自治センターへ事務局を移転してから3年目となり、更なる効率的な法人運営と一体的な管理体制に向け、年4回の施設長会議をはじめ、観光・温泉関係施設とのヒアリング等を定期的実施し、情報の共有化による迅速な課題解決に努めてまいりました。
- 広報活動については、「着地型旅行」及び「施設の回遊化」による利用促進を図るため、NHK大河ドラマ「真田丸」を千載一遇のチャンスと捉え、「大河ドラマ館入場券」の販売や「大河ドラマ館入場券付宿泊プラン」などを企画・実施するとともに、群馬県沼田市、大阪、名古屋など「真田街道」で繋がる地域への積極的な広告活動を実施いたしました。
また、昨年度に好評を得た、事業団の温泉施設を巡る「六文泉スタンプラリー」については、「真田丸」効果による旅行者や短期滞在者も参加しやすいように見直し、各温泉施設の回遊化による利用促進に努めてまいりました。
- 職員研修については、職員の心と身体の健康管理に重点を置き、メンタルヘルスケア研修を3回開催するとともに、ハラスメント研修、クレーム対応研修及び食品衛生管理研修などを実施してまいりました。
また、平成26年10月から開始した「自主研修助成制度」は、1件の利用があり、職員の更なるスキルアップを図るため利用促進に努めてまいります。
- 財政・経理業務については、一般財団法人移行に伴う「公益目的支出計画」に沿って、平成27年度末に上田市への寄付を滞りなく完了したことから、安定した資金確保と適正な資金管理を図るため、毎月締めにて収支のバランスと資産状況の把握を行うとともに、ペイオフ対策として、定期預金の預け入れなどを行ってまいりました。
また、新会計システム導入後3年目となり、更なる事務の効率化を図るため、各事業所においての利活用研修を実施してまいりました。
今後とも、会計システムを活用した事務の効率化と経理業務の一元化を図り、事業団全体の安定した経営と財政の健全化に向け、取り組んでまいります。

《六文泉スタンプラリー 達成者状況》

| | 達成枚数 | 3施設達成者 | 施設回遊数 |
|---------------|------|--------|-------|
| 第二弾 (H28年実施分) | 69 | 540 | 1,620 |
| 第一弾 (H27年実施分) | 862 | | 5,172 |

※ 第一弾は施設の周知を目的とし、対象6施設すべてを巡ると無料券を配布した。
第二弾は収益を目的とし、有料入館者のみ対象と制限を設け、スタンプラリーを実施した。
但し、旅行者や短期滞在者も参加しやすいよう、3施設の利用で無料券を配布することとした。

※ 対象6施設は、ささらの湯・さなだ館・うつくしの湯・鹿月荘・雲溪荘・クアハウスかけゆ。

《平成28年度収支計算書 総括表 (抜粋)》

(単位：円)

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------------------|---------------|----|
| 事業活動収入計 | 1,291,493,789 | |
| 事業活動支出計 | 1,249,646,672 | |
| 事業活動収支差額 (当期収支差額) | 41,847,117 | |
| 前期繰越収支差額 | 83,033,707 | |
| 次期繰越収支差額 | 124,880,824 | |